

令和4年2月3日

内子町環境マネジメント推進本部長

内子町長 小野植 正久 様

内子町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 小野 里枝美 

副主任監査員 多比良 康彦 

副主任監査員 西谷 昭男 

環 境 監 査 報 告 書

令和3年度うちエコ監査の結果について、以下のとおり報告します。

1. 監査日程 推進本部・事務局：令和4年1月19日（水）
実行部門等 ：令和4年1月19日（水）・21日（金）・24日（月）
全体協議 ：令和4年1月26日（水）
2. 監査対象 環境マネジメント推進本部および事務局
実行部門等（別紙）
3. 監査方法 監査員による聞き取り
4. 監査内容 環境基本計画（後期計画）にかかる目標の達成見込み
エコオフィスの取り組み状況
町民等との連携および職員の環境意識の醸成 など

(1) 総合所見

令和3年度のうちエコ監査は、推進本部・実行部門・事務局、計25の部署等を対象に実施しました。

このうち実行部門の監査について、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で初めて書面での実施としましたが、対象部署および監査員の双方から「書面では十分に組みの内容が伝わらない」との意見が複数寄せられました。このため本年度は、時間を30分に限定し、聞き取りの相手方を各部署等の長およびエコアップ推進員のみとして執務室等の見回りは行わないなど、感染対策に配慮した上で対面による監査を行わせていただきました。対象部署等の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。

評価の方法は、取り組みの内容や目標の達成状況について、☆（特に優れた取り組み）◎（良好な取り組み）○（取り組んでいる）△（改善要望事項）×（勧告事項）の5段階で判断しました。その結果、☆6個、◎44個、△2個となりました。

全体を通して、従来から取り組んできている基本的な環境対策がおおむね定着し、着実に実践されている様子がうかがえます。

その中で「☆」となった部署等については、従来の課題の改善を図り、さらに新しい取り組みをスタートするなど、より高いレベルで積極的に取り組みが進められている点を高く評価しました。

また一昨年度から続くコロナ禍の中で、引き続き事業の変更や中止を余儀なくされる場面が少なくないものの、内容や方法を工夫するなどして何とか実施につなげていこうとする姿勢が多く見られました。中にはWEB会議を積極的に採用することで出張にかかる燃料費等の削減や時間の有効活用、ペーパーレス化の推進を図っている例や、県内の親子や修学旅行生などを呼び込む体験活動を企画・実施して観光客数を増やしている例などもあり、逆境をも1つの契機として成果につなげられていることを頼もしく感じます。

一方で、2050年の脱炭素社会実現を目指すという国の方針により、自治体や家庭に対してこれまで以上にハードルの高い温室効果ガス排出量の削減目標が示されており、今後の取り組みはより困難になることが予想されます。公共施設等における太陽光発電の設置や電気自動車の導入に向けた検討を進められているとのことですが、それらの情報を町民に対して発信していくとともに、学習の機会等の提供を進めていくことが重要であると考えます。

うちエコを通して、内子町の取り組みが町民により広く深く浸透し、家庭や職場などでも生かされて、町全体でエコロジータウン内子の実現につながっていくことを期待します。

(2) 評価結果

①推進本部

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	町長／方針の設定・周知		1					
2	町長／環境基本計画の推進（協議・指示）			1				
3	町長／EMS の運用・改善			1				
4	副町長／エコオフィスの推進			1				
5	副町長／エコオフィスの推進		1					
6	教育長／環境教育の推進（環境学習）		1					
7	教育長／環境教育の推進（地域の環境活動）			1				
合 計		0	3	4	0	0	0	0
達 成 率（○以上の項目／全 6 問）		100%						

②実行部門

[illegible]

③事務局

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	基本方針の周知・理解			1				
2	環境に関する定期的研修			1				
3	首長との協議			1				
4	目標達成状況の公開			1				
5	指摘事項の改善		1					
6	全般（取り組みの工夫・改善）			1				
7	システム全般（うちエコの運用）			1				
8	システム全般（監査の工夫・改善）			1				
9	システム全般（監査の評価）			1				
10	システム全般（監査の報告）			1				
合 計		0	1	9	0	0	0	0
達 成 率（○以上の項目／全 12 問） ※該当なし項目（—）を除く		100%						

（３）個別所見

①特に優れた取り組み（☆）

部署名	設問	評価理由
議会事務局	2	すべての目標が達成できている上に、議員の方々への啓発や研修等を実施し、タブレット導入により会議時のペーパーレス化を推進している点が素晴らしいと感じました。また小学生の議場見学についても、事務局から働きかけを行い、昨年度は 1 校であったのが本年度は 5 校となったほか、必ず環境に関する話題を取り上げて、身近なテーマでクイズにするなど、工夫をしてより高いレベルで取り組まれていました。
天神小学校	8	昨年度からスタートしたコミュニティースクールの活動の中で、外部講師と連携してさまざまな環境学習に取り組む、これまでよりもレベルの高い学習ができていることを高く評価します。また地元企業を訪問し、竹ハブラシの製造を通してプラスチックごみ削減の取り組みを学んだり、バイオマス発電所を訪問して温暖化問題について考えたりするなど、地域における生きた体験学習が行われていると感じました。

みどり苑	2	苑だよりを年4回発行して苑の取り組みを周知するなど、目標をすべて達成しています。また新たに畑を開拓してスイカ・サツマイモ・トマト・ピーマン・ナスなどの夏野菜を栽培し、食材の購入を減らしているほか、栽培にあたっては減農薬にも配慮するなど、グリーン購入の観点からも優れた取り組みであると感じました。
内子フレッシュパーク からり	2	目標に掲げた項目はすべて実施されています。その上で、毎朝落ち葉を掃除し、堆肥化して農家に提供したり、からりオリジナルのエコバックを作成・販売し、レジ袋の有料化を率先して実施したり、レストランの割り箸をやめて繰り返し洗って使う箸に変更したりと、さまざまな取り組みを実践されていました。また道の駅として、来訪者に向けて、からり周辺の鳥や魚、地域で取れる野菜の花のパネルを作成し、内子町の自然を紹介するなど、積極的に取り組まれている姿勢が素晴らしいと感じました。
	3	プラスチックごみ対策としてジェラートスプーンの変更を検討しているほか、農薬使用量の適正化（減農薬）を図るため、少量計測のための注射器を農家に配布し、認証制度の推進に努めたり、新しいエコバッグの作成を計画したりと、意識的に改善・変更に取り組まれていました。
	5	薪ストーブを導入し、燃料とする薪を自前で切り出して運んだり、農家の剪定枝を利用したりしているほか、車の運転時は無駄なアイドリングをしないなど、環境に配慮した着実な取り組みが行われていました。

①良好な取り組み（◎）

部署名	設問	評価理由
推進本部	1	本年度は防災拠点等への太陽光発電導入可能性調査を実施中であり、令和4年度は再エネ導入ポテンシャル調査を予定し、町としての方向性を見極めている状況で、条件が整えば「脱炭素先行地域」に手を挙げたいと力強い意欲を示されている点を評価します。
	5	エコロジータウンは内子町の政策の柱の1つであり、担当部署として環境政策室を維持するとともに、内子町として特徴的な取り組みを打ち出していきたいと、環境政策の継続と充実に意欲を示されました。環境活動に関わる住民から見て、頼もしいと感じました。
	6	これまでの環境教育活動に精通されており、環境教育への熱意を感じました。また地域と共に行う学校づくり、地域づくりとの相互作用、環境を題材にした姉妹都市との交流充実などに意欲を示され、今後に期待が持てます。

総務課	1	うちこ屋バンクの成約、移住相談時のエコロジータウンの取組紹介、生垣・板塀の普及など、主な取り組みはおおむね目標を上回る達成率となっていました。さらに今後について、WEB 会議やタブレット活用によるペーパーレス化の一層の推進、電気自動車の導入など、検討を進められていました。
	5	コロナの影響に起因する部分が多いものの、前年度比ガソリン 12.9%減、灯油 13%減、LPG17%減と、達成状況が非常に良いことを評価します。また総務課が主導してWEB 会議を積極的に採用することで、時間の有効利用にもつながっていました。
住民課	3	消費生活相談の啓発グッズにエコバッグを配布するなど、所管する事業に環境対策を組み入れて独自目標を改善し、取り組まれていました。
	8	窓口では、来訪者に対して環境配慮について説明した上で封筒の可否を確認し、必要な方には再利用封筒を交付するなど、丁寧な対応がなされていました。また、ごみ分別アプリなどの周知にも努められていました。
	13	日々の生活において、食品ロスをはじめとするごみ削減のため、食材の使い切りや弁当持参、新聞やごみのリサイクルなどを心がけるほか、フードロスや古着等の回収BOX を利用する際は子どもと一緒にやって啓発を図るなど、環境意識の高さがうかがえました。
うちこ福祉館	2	独自目標に掲げた項目はすべて達成の見込みとなっています。さらに、清掃活動を目標以上に実施している、えひめ AI-1 を利用者が持ち帰りしやすいようにタンクから 500ml のペットボトルに小分けして用意しているなど、利用者の目線に立って配慮の行き届いた取り組みがなされている点を評価しました。
	7	職員が各々勉強してガイドラインをしっかりと把握し、グリーン購入を推進されています。また記録者を決めて記録漏れを防ぐなど、工夫して取り組まれている様子がうかがえました。
	8	利用率の高い場所にグリーンカーテンを設置して館報で周知したり、環境配慮チェックシートを書き忘れた利用者にはその都度連絡して聞き取りを行い、意識の向上に努めたりしているほか、講座等で出たコーヒーかすや廃食油は再利用するなど、利用者を巻き込んだ活動が行われていました。
保健センター	8	調理実習の際は、食品ロス削減のため生ごみなどを持ち帰りしたり、地産地消の推進のため自宅で栽培している野菜等の食材を持ち寄ってもらったりと、工夫して取り組まれていました。また食育と食文化に関する計画の中で、旬カレンダーや地産地消の日の設け、家庭への啓発にも努められている点を評価します。

建設デザイン課	2	小田川清掃については、コロナのため住民との活動ができなかったものの、商工会青年部と協働して実施するなど工夫して取り組まれていました。また、河川の修繕ではコンクリートを使用せず自然石を活用する、えひめ AI-1 を推進するなど、業務の中で環境に配慮した取り組みが行われていました。
	7	グリーン購入にかかる再生材の利用は 100%、町産材の利用は 85%（フローリング材や合板は町産材ではできないため）と、高い達成率を出されていました。
町並・地域振興課	8	内子座の缶バッジに入館券の半券を再利用し、作成を地域の方に依頼したり、グリーンツーリズム協会や漁協組合などと連携して親子旅を企画し、内子町の自然や文化を PR したりするなど、町民と行政が連携した取り組みが行われている点を評価します。
	9	伝統的な建物の修繕に、壊した土壁を再度練り直して使うことで無駄をなくす工夫がなされていました。また内子座の LED 化を進めることで電気量の削減を目指す取り組みが進められていました。
ビジターセンター	1	開催時期や参加者の制限など柔軟に対応しつつ、昆虫採集や草木染めなど内子町ならではの自然を生かした企画で、コロナ禍にも関わらずグリーンツーリズムや風博の体験活動の利用者の増加につなげていました。
	11	毎朝 30 分間、館内外を清掃し、美しい環境を保つ中で、タバコのポイ捨てに気付くなど地域の課題発見にもつながっている点を評価します。
議会事務局	3	コロナがきっかけではありますが、リユース弁当箱の利用からさらに発展して弁当注文を希望者のみとしたり、会議時の湯茶の準備をやめてマイボトル持参としたりするなど、議員の方々の協力を得て取り組みを進められていました。監査を始めて以来のさまざまな課題がきちんとクリアされている点が素晴らしいと感じます。
五十崎児童館きらり	2	個々の取り組みについて、多様な方法で実践し、目標以上の実績をあげるとともに、課題を捉え、工夫改善を図りながら、確実に実践している点を評価します。
	3	野菜栽培について、昨年度は大人だけで行っていた点を、プランターを利用して種から育てることで子ども一緒にできるように工夫するなど、1つ1つは小さいことながら、前向きに改善して取り組んでいる。
子育て支援センター	6	コピー用紙の使用について、建設デザイン課から片面使用済みの用紙や図版用紙をもらい裏面を利用することで、購入量の削減を図る工夫がなされていました。
	8	月 1 回、子ども服や子ども用品のリユースの機会を設けているほか、今後はこども園や他の保育園・幼稚園とも連携して機会を増やしていきたいと、前向きに検討されていました。

子育て支援センター	13	町並保存地区の玄関口に植栽されているアジサイが、花が終わった後も手入れされず枯れたままとなっていたことから、所管の部署や地域の承諾を得て自身でせん定したということで、景観や来訪者への配慮、気付いたことをそのままにせず自ら行動され、素晴らしいと感じました。
地域活動支援センターかいと	4	照明をLED化するとともに不要な箇所は間引きをしたり、日当たりの良い午後は照明のON・OFFや暖房の温度をこまめに調節したりするなど、地道に丁寧に省エネに努められていました。
	8	隣接する児童館と連携して、職員や利用者だけでなく、近所からも空き缶などの回収を行っているほか、菓子製造の際はできるだけ町内産の食材を使用したり、自治会の依頼を受けて施設前のプランターの水やりを行ったりするなど、地域に密着した活動が行われていました。
	10	情報共有の1つとして、日誌にエコオフィスプランをラミネートして挟み、常に目に付くように工夫して、日常的な周知啓発を図られていました。
	11	笹飾りに使った花紙や凧合戦の際の凧ひも、地元企業から出る廃材などを使って小物を製作するなど、地域ならではの工夫が見られました。
小田幼稚園	8	地域のゲストティーチャーや高校生と一緒に川遊びやコマ回しの活動を行うなど、積極的に交流を図られていました。また人数の多寡やコロナの影響などがある中で、工夫して活動を進めていこうとする姿勢が見られました。
	11	近所にドングリを拾える場所がないことから、園庭にドングリの木を植えたり、近くに自生する桃の木の実を拾っておゆうぎ会のマラカスを作ったり、ジップロックを使って各園児にお散歩バッグを製作し年間を通して利用することで、これまでお散歩のたびに使っていたレジ袋の削減につなげたりと、環境を意識したさまざまな工夫がなされてきました。
内子小学校	8	外部団体と積極的な交流が持続的に行われており、内容も多岐にわたっています。またコロナのため小田深山での宿泊研修ができない代わりに日帰りで実施したり、オンライン学習や外部講師を迎えた学習を取り入れたりするなど、実のある活動を実践し、学習発表会などで保護者にもそれらの取り組みを伝えていることを高く評価します。
立川小学校	2	目標に掲げた項目はすべて達成しているほか、外部講師を迎え、児童と交流を図る活動が行われていました。バードウォッチングでは、活動後も教室に双眼鏡や野鳥図鑑を設置して、活用を図るなどの工夫が行われていました。
天神小学校	2	目標をおおむね達成しており、特にアルミ缶回収は五十崎全域に呼びかけるようにしたことで回収量が1.5倍に増え、地域住民にも好評であるほか、HPを活用した情報発信も行われていました。

天神小学校	11	水の出しっぱなしや電気の消し忘れなどは、周知するだけでなく校長先生等が見回りを行い、見つけた際は注意するなど、徹底されていきました。また 5 年生は 1 年間を通して環境について学び、学習発表会で保護者にその成果を披露したほか、総練習の場を通じて他学年への啓発にもつなげており、素晴らしいと感じました。
	12	監査にあたって、活動内容をまとめた資料や事前に他の先生方にアンケートを行った結果などを準備していただいており、その内容からも真剣にエコに取り組んでいる姿勢が伝わりました。
内子東自治センター	6	研修などの際のパワーポイントの資料を希望者のみの配布とすることで用紙の使用量の削減を図っており、小さな取り組みではあるものの、他の会議などでも実施することで効果が上がると期待します。
五十崎自治センター	8	地元企業から不要なダンボールをもらって「お客ちゃま」（座席のソーシャルディスタンス表示）を作るなど、企業と連携した活動が行われていました。また施設周辺の落ち葉を集めて堆肥化し、自治会に提供したり、閉店した店舗の自販機を譲り受けて折り紙の自販機に改修しようとしたりと、地域とも連携した活動が行われていました。
みどり苑	11	新聞や空き缶などをリサイクルし、その収益で車いすなどを購入し、活用されていきました。
神南荘	2	目標はおおむね達成しており、特に冷泉の利用については、新たにメーターを設置して水量を把握することにより無駄をなくすよう改善を図っていました。
	5	以前から BDF ボイラーを導入しており、施設から出る廃食油をすべて BDF 燃料としてデイサービスの給湯に使用することで、温室効果ガスの排出量削減に貢献されています。
	10	研修資料の回覧やファイリングに加え、職員会や朝礼などの際に必ず周知するようにして、約 50 人の職員全員が情報を共有できるように努められていました。
	11	施設外の水路の掃除や草刈りなどを実施しているほか、神南自治会と一緒に防災訓練を行ったり、花いっぱい運動のプランターを玄関や中庭に飾ったりするなど、地域と連携した活動が行われていました。
内子フレッシュパークからり	4	第 2 電力の採用、完全 LED 化、デマンド装置を設置して使用量の見える化を図るなど、できることを積極的に取り入れ、省エネに努められていました。
事務局	5	前回指摘事項への対応として、各部署からの報告様式を簡素化し負担軽減を図ったり、監査における質問の仕方を改善して監査員も確認しやすくしたりするなど、これで完成ではないものの、一定の適切な改善が見られました。

②改善要望事項（△）

部署名	設問	評価理由
立川小学校	4	電気使用状況を把握できていなかったことから「△」評価としました。事務担当者が他校との兼務で日常的な情報交換が難しいなどの事情があるかと思いますが、定期的に使用量を確認し、省エネの意識向上を図っていただくよう改善を期待します。
内子東自治センター	3	コロナのため高齢者サロンが全く開催できなかったということでやむを得ない面もあるかと思いますが、子どもを対象とした事業は実施されており、何か代わりとなる活動を工夫するなど、今後に向けた改善を期待します。

③部署別全体評価

部署名	全体評価
総務課	電気自動車の導入計画や、CO2 センサーを導入し換気の効率化を図るなど、新たな事物を取り入れる姿勢がうかがえるとともに、部署間の連携や町民に向けた活動展開への課題認識など、環境意識の高さを感じました。
会計課	基本的な環境対策が実施されているほか、所属長が環境に関する新聞記事等を切り抜き、部署内で回覧して周知を図られており、素晴らしいと感じました。一方、個人情報を含む文書が多く、それらをシュレッダー処理ではなく主に焼却処分とされていることを残念に思います。
住民課	基本的な環境対策に加え、課全体で取り組みが行われており、意識が高いと感じました。窓口を訪れる町民の方々に対しても丁寧な説明をされ、環境啓発に努められていました。
うちこ福祉館	職員全体でしっかりと内容を把握し、よく取り組まれていると感じました。なお部署からの意見として、施設面での省エネ対策（LED 化・自動水洗化）を推進してほしい、職員数に応じた PC を設置してほしいといった要望がありました。
保健福祉課	従来の取り組みが定着しており、きちんと継続できていると感じました。また紙の使用量が多く、ペーパーレス化を進めたい考えはあるものの個人情報の扱いや関係者の高齢化などで難しい面があるとのことでした。完全にペーパーレス化することは困難かと思いますが、できる方法を模索し一部から実施するなど、問題意識を持ち続けて改善につなげてほしいと期待します。
保健センター	基本的な環境対策がしっかり行われています。また調理実習や食育計画を通して地産地消の取り組みに力を入れるなど、所管の事業に関連して環境配慮の活動を盛り込んでいることが感じられました。

建設デザイン課	林道を整備することで作業を効率化し、林業の振興を図っているほか、2050 年の脱炭素に向けて、排出量削減だけでなく森林整備を行うことでカーボンニュートラルを推進すると、明確な目標を立てられています。また省エネ材や再生材の利用など環境配慮に努められており、意識の高さを感じました。
町並・地域振興課	全体を通して、コロナの影響で目標達成が難しい状況にあったように感じました。そのような中で、内子町の自然を生かしたサイクリングや親子旅などを企画され、多くのイベントを通してその魅力を伝えられていました。また伝統的な建物の修繕には土壁を再利用するなど、無駄をなくす取り組みが行われていました。
ビジターセンター	コロナによる業務時間短縮(残業減)などの影響が大きいものの、月平均 200kwh の電気使用量削減の実績を挙げられています。またコロナ禍にも関わらず、内子町ならではの体験メニューなどを工夫することで、グリーンツーリズムや風博物館の利用者増加につながられていました。
自治・学習課	コロナ禍で実施できなかった事業が多くあり、コロナ終息後の再開に期待します。自治会館の修繕・改修に際しては、照明の LED 化や太陽光発電設備の設置検討などについて十分に配慮され、取り組みを進められていることが確認できました。
議会事務局	少人数の職員体制の中でしっかりと問題に取り組まれ、長年の課題が改善されつつあることを実感できました。とても素晴らしいと感じます。「エコロジータウン内子」として、議会・議員の皆さまと共に今後も取り組みが進められることを期待します。
五十崎児童館きらり	限られた予算の中で、1つ1つは小さなことであっても工夫して改善しながら前向きに取り組む姿勢が感じられ、今後に期待を持つことができました。例えば省エネについても、不要な冷暖房はこまめにスイッチを OFF にしたり、サーキュレーターを利用し効率的に温度を調節したりすることで、今年度新たに加湿器を設置したにも関わらず、例年並みの電気代に抑えられていました。
子育て支援センター	全体を通して、職員がよく頑張っており取り組まれているという印象を受けました。なお部署からの意見として、デスクネットを閲覧可能な PC が 1 台しかなく、情報共有のためには印刷して回覧しなければならないため、紙の使用量削減のためにも必要台数の設置を検討してほしいとの要望がありました。
地域活動支援センターかいと	事務所内だけでも、さまざまなエコに関する取り組みが実践されているほか、トイレをオート照明にして利用者の消し忘れを防ぐなど、細やかな工夫が見られました。また毎朝、職員と利用者が施設や付近の公衆トイレの清掃を行い、きれいな環境が保たれているなど、地道に丁寧に取り組まれている様子がうかがえました。
小田幼稚園	住んでいても意外に地元のことを知らない場合も多いことから、地域の自然環境などについて、園児を通して保護者へどのように発信していくかという課題意識を持ち、自身の仕事と関連づけて解決を図ろうとされている姿勢が素晴らしいと感じました。

内子小学校	校長先生をはじめ、全体を通して環境教育に対する積極的な姿勢がうかがえました。また児童が互いに気付いたことを指摘し合うなど環境への意識が根付いており、幼稚園等からの持続的な取り組みの成果が見られます。外部講師を招く以外に、校外学習もどんどん取り入れたいとの方針で、今後さらに期待します。
立川小学校	保護者だけでなく地域とのつながりが強く、自然観察や炭焼き体験など、自然に触れる機会が多くある点が良いと感じました。交流行事を今後も継続してほしいと期待します。
天神小学校	資料やアンケートの準備など、推進員の先生の熱意がうかがえました。また校長先生や教頭先生が率先して行動を起こすことで、他の先生方や児童にも良い影響を与えていると感じました。 年間を通して児童が環境について学習し、発表することで、他学年や保護者に向けた発信も行えており、素晴らしいと思います。
内子東自治センター	例年の取り組みを着実にいき、できることを積み重ねられていました。例えば、研修資料は希望者のみの配布として用紙使用量の削減を図るなど、小さな取り組みではあるものの、すべての会議で実施されれば効果が期待できると考えます。また興味関心のある情報は部署内で積極的に共有するなど、配慮がうかがえました。
五十崎自治センター	小田川をフィールドとして地域学習にも生かす活動が行われています。積極的に外部との連携を図っているほか、独自の取り組みを進められており、中でも使用されなくなった自販機の再利用の試みが目新しいと感じました。
みどり苑	設定した目標はすべて達成されていきました。コロナのためイベント等が中止となっており評価が難しい面もありましたが、外部との交流や協働ができない中で、施設内で可能なことを工夫して実施するとともに、情報発信にも取り組まれていました。
神南荘	約 50 人の職員が働く中で、しっかりと環境意識の向上や情報共有が図られていました。また自治会や施設利用者と連携して活動を実施するとともに、デマンドシステムの導入や細かな館内改修など、技術と工夫を取り入れた取り組みが行われていました。
内子フレッシュパーク からり	以前から高い環境意識のもと優れた取り組みを続けられており、職員一人一人が意識して取り組まれています。また第 2 電力を採用したり、いち早くレジ袋を有料化したり、レストランの割りばしを変更したりと、より良くしていくために積極的に変わろうとする姿勢がうかがえました。 町外から多くの人を訪れる施設として、土手の植栽や手入れ、薪ストーブの設置など、施設全体の景観や雰囲気づくりに配慮されているほか、内子町の環境を PR するなど、素晴らしい取り組みがなされていました。

[参考] 対象部署一覧

NO.	区 分	部 署 名 等
1	推進本部	町長
		副町長
		教育長
2	実行部門	総務課
3		会計課
4		住民課
5		うちこ福祉館
6		保健福祉課
7		保健センター
8		建設デザイン課
9		町並・地域振興課
10		ビジターセンター
11		自治・学習課
12		議会事務局
13		五十崎児童館きらり
14		子育て支援センター
15		地域活動支援センターかいと
16		小田幼稚園
17		内子小学校
18		立川小学校
19		天神小学校
20		内子東自治センター
21		五十崎自治センター
22		特別養護老人ホームみどり苑
23		特別養護老人ホーム神南荘
24		内子フレッシュパークからり
25	事務局	環境政策室